



2017年3月期 決算説明会 決算説明資料

2017年5月24日

代表取締役 社長執行役員 安田 正介

証券コード：8130
(東証一部、名証一部)

目次

■ 2017年3月期決算の状況	p.3	■ 2018年3月期 通期見通し	p.16
■決算のPOINT	p.4	■外部環境予想（当社推定）	p.17
■外部環境	p.5	■連結業績見通し（概要）	p.18
■関連市場の状況と販売状況	p.6-7	■連結業績計画	p.19
■連結損益計算書	p.8	■連結セグメント別業績計画	p.20
■連結税金等調整前純利益の増減（前年比）	p.9	■連結税金等調整前純利益の増減見通し（前年比）	p.21
■連結セグメント別売上高推移	p.10		
■連結セグメント別営業利益推移	p.11		
■主な取り組み状況	p.12-13		
■連結貸借対照表	p.14		
■連結キャッシュ・フロー計算書	p.15		

2017年3月期 決算の状況

決算のPOINT

■ 外部環境

- ・ 賃貸住宅が牽引し、新設住宅着工戸数は好調。住宅リフォームは減少、非住宅新築内装工事は全般低迷。

■ 売上高 1,356億4,000万円（前期比+1.2%）7期連続増収 過去最高売上高

- ・ インテリア事業、エクステリア事業、照明事業の各事業において増収。
- ・ ホテルやオフィス分野でのリニューアル工事が堅調に推移しカーペット、カーペットタイルが好調。また、商業施設や賃貸住宅向けのフロアタイルなど床材が増収を牽引。

■ 営業利益 75億7,200万円（前期比-16.9%）

- ・ 増収・利益率改善により売上総利益6億円増も、販売管理費 21億円増の影響により、前年比15億円の営業利益減。販売管理費の増加は中期経営計画に基づく政策的経費によるもの。

■ 当期純利益 65億7,000万円（前期比+2.8%）2期連続増益 過去最高益

- ・ 上記政策的経費増の影響による営業利益減も、政策保有株式の見直しを実施、有価証券売却益8億6,300万円を計上。
- ・ 中期経営計画最終年度目標の63億円は2期連続で達成。

■ 配当 2017年3月期 期末配当 27.50円(年間配当52.5円)

- ・ 期初予想より2.50円増配（前年比5円増配） ※平成29年6月23日開催予定の株主総会に付議。

外部環境

		新設住宅着工戸数 (国土交通省発表資料)	新設住宅着工床面積 (国土交通省発表資料)	住宅リフォーム市場 (当社推計)	民間非居住建築物 着工床面積 (倉庫・工場を除く) (国土交通省発表資料)
		前期比	前期比	前期比	前期比
2014年	4-9月	▲11.6%	▲15.7%	▲14.6%	▲8.2%
	10-3月	▲10.1%	▲14.8%	▲20.8%	▲12.7%
2015年	4-9月	6.9%	3.5%	4.5%	▲4.7%
	10-3月	2.2%	0.7%	1.0%	▲8.5%
2016年	4-9月	6.0%	4.1%	▲8.3%	1.6%
	10-3月	5.6%	4.1%	2.2%	6.2%

1. 新築住宅	2016年度の新設住宅着工戸数は97.4万戸と前期比5.8%増。戸建て住宅(持家)2.6%増、賃貸住宅11.4%増となり、新設住宅着工床面積は4.1%増となった。
2. リフォーム需要	2016年度は前期比▲3.1% (当社推定) 力強い消費動向は感じられなかった。
3. 新設非住宅	2014年度▲10.4%、2015年度▲6.5%が響き、通期の内装工事量は前期比マイナス。

関連市場の状況と販売状況(壁装材)

●壁装材 関連市場の状況 (カッコ内は業績に影響を与える対象期間)

新築住宅市場 (2016年1月～12月)			住宅リフォーム市場 (2016年4月～2017年3月)	業界全体の壁紙出荷数量 (2016年4月～2017年3月)
新設住宅着工戸数 前期比 +6.4%	持家	+3.1%	前期比 ▲3.1%	前期比 +2.3%
	賃貸	+10.5%		
新設住宅着工床面積 前期比 +4.2%				

●壁装事業 実績


壁装材売上高
前期比 実績
+0.1%

- 低価格帯の量産壁紙の出荷増に伴い、総出荷量は増加したものの、中価格帯の壁紙出荷低調により売上は微増にとどまった。

関連市場の状況と販売状況(壁装材)

●床材 関連市場の状況

民間非居住建築物 着工床面積 (使途別,倉庫・工場を除く)	
2014年度 前期比	▲10.4%
2015年度 前期比	▲6.5%
2016年度 前期比	+3.7%

民間非居住建築物着工床面積(用途別)		
	2015年度	2016年度
卸売業、 小売業用	▲14.6%	+0.1%
宿泊業、飲食・ サービス業用	+28.3%	+51.4%
医療・福祉用	▲24.3%	+4.6%
その他の サービス業用	+7.2%	▲7.4%

業界全体の商材別出荷数量 前期比 (2016年4月～2017年3月)	
タフテッドカーペット	+3.7% (4-2月)
カーペットタイル	▲3.1% (4-2月)
長尺シート	▲1.5% (4-3月)
フロアタイル	+6.9% (4-3月)

●床材事業 実績



床材売上高
前期比 実績
+2.3%

- 新築内装工事向け取引は低調、一方首都圏でのリニューアル市場において、カーペットタイル、フロアタイル好調。
- 賃貸住宅の増加による住宅用フロアタイル好調。
- 医療施設分野の落ち込みで長尺シートは苦戦したが下期より回復基調。

連結損益計算書

単位（億円、％）

	2016年 3月期実績	2017年 3月期 修正計画	2017年 3月期実績	修正計画比		前期比	
				増減	％	増減	％
売上高	1,339.7	1,370.0	1,356.4	-13.5	-1.0%	16.6	1.2%
売上総利益	395.2	405.0	401.0	-3.9	-1.0%	5.7	1.5%
販売費及び 一般管理費	304.1	325.0	325.3	0.3	0.1%	21.1	7.0%
営業利益	91.1	80.0	75.7	-4.2	-5.3%	-15.3	-16.9%
営業外収益	4.5	6.8	8.7	1.9		4.1	
営業外費用	1.0	0.8	0.7	-0.0		-0.2	
経常利益	94.6	86.0	83.6	-2.3	-2.7%	-10.9	-11.6%
特別利益	0.2	1.3	9.7	8.5		9.5	
特別損失	1.3	1.3	1.1	-0.0		-0.2	
税金等調整前 当期純利益	93.4	86.0	92.3	6.3	7.4%	-1.1	-1.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	63.9	59.0	65.7	6.7	11.4%	1.7	2.8%
EPS（円）※	89.8	87.2	97.4	10.2		7.6	

主に中期経営計画（2014-2016）施策による費用増、概ね計画通りも前期比21.1億円増。
→ p.13に詳細掲載

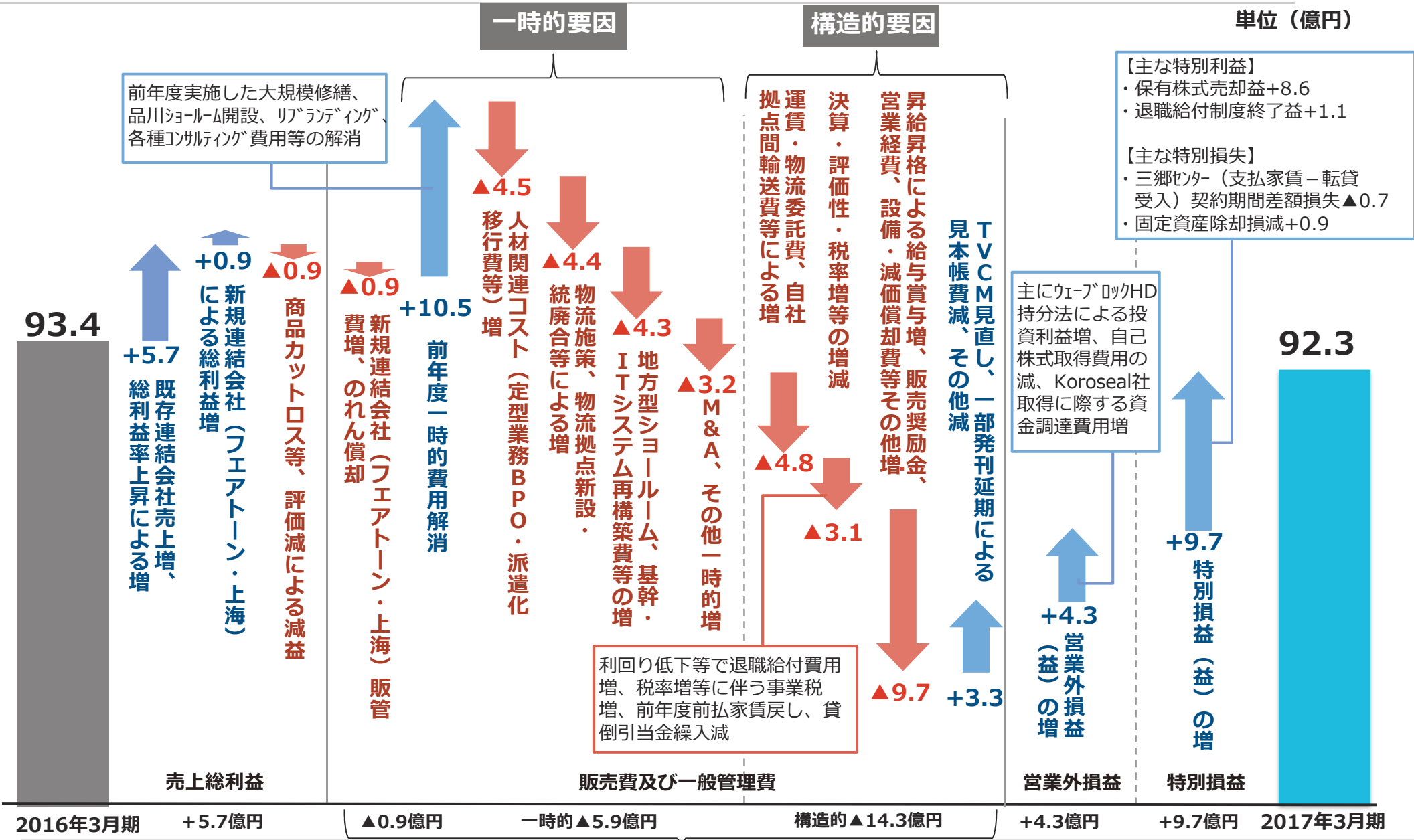
持分法適用会社ウェブリンクHDの投資利益 3.2億円計上。
（前年のはのれん償却計上により▲0.4億円）

政策保有株式の見直しに伴い有価証券売却益8.6億円計上。
退職給付制度終了益1億円計上。

※2016・2017年3月期実績EPSは、潜在株式調整後の株式数にて算定

連結税金等調整前純利益の増減（前年比）

単位（億円）



連結セグメント別売上高推移

単位（億円、％）

事業セグメント	2016年 3月期	2017年3月期			
		実績	構成比	前期差	前期比
インテリア	1,151.4	1,166.5	86.0%	15.1	1.3%
壁装材	563.5	563.9	48.3%	0.4	0.1%
床材	404.5	413.7	35.5%	9.2	2.3%
ファブリック	77.8	77.0	6.6%	-0.8	-1.0%
その他	105.5	111.8	9.6%	6.2	6.0%
エクステリア	147.1	147.7	10.9%	0.6	0.4%
照明器具	41.4	42.3	3.1%	0.9	2.3%
セグメント間取引調整	-0.2	-0.3	-	-	-
連結売上高	1,339.7	1,356.4	100%	16.6	1.2%

連結セグメント別営業利益推移

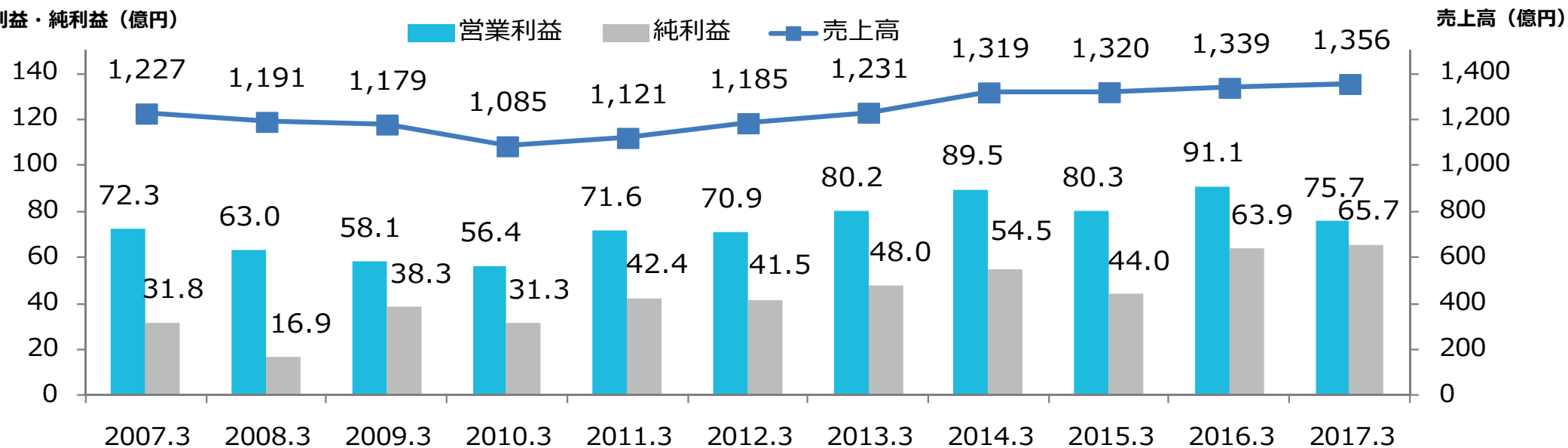
●セグメント別 営業利益推移

単位 (億円、%)

事業セグメント	2016年 3月期	2017年3月期					
		実績	構成比	計画差	計画比	前期差	前期比
インテリア	88.7	71.5	94.4%	-4.3	-5.8%	-17.2	-19.4%
エクステリア	3.6	4.0	5.3%	-0.1	-2.7%	0.3	9.6%
照明器具	-1.2	0.2	0.3%	0.2	-	1.5	-
セグメント間取引調整	-0	-0.0					
連結営業利益	91.1	75.7	100%	-4.2	-5.3%	-15.3	-16.9%

●連結売上高・営業利益・純利益推移

営業利益・純利益 (億円)



インテリア事業の状況

■ 壁装材

首都圏で伸長するホテルやオフィス分野の需要に応え、非居住施設向けの不燃認定壁紙を収録した新見本帳「FAITH」を発売。非住宅分野に向けた営業活動強化の布石とした。一方、新設住宅着工戸数は賃貸住宅を中心に堅調に推移したものの、戸建て住宅が伸び悩んだことから、量産壁紙の出荷比率が高まり、大きな収益増にはつながらなかった。

■ 床材

賃貸住宅市場の活性化により、住宅向け塩ビ床タイルが好調。インバウンド需要を背景とした宿泊施設のリニューアル市場も引き続き堅調に推移し、カーペットタイルや特注デザインカーペット等の納品が伸長。

また、医療福祉分野も下期より回復基調となり、非住宅向け長尺シートが伸長した。

■ ファブリック

各種施設のニーズに幅広く対応する機能とデザイン性の高い商品を取りそろえたカーテン見本帳「コントラクトカーテン」を発売し医療施設やホテルなどコントラクト市場に向けた活動を強化。また5年ぶりに椅子張総合見本帳「UP」を改訂し、営業部署と連携した営業活動を積極化した。しかし、住宅市場におけるオーダーカーテンの需要縮小が影響し、前年減となった。

主な取り組み状況 エクステリア事業・照明事業

エクステリア事業の状況

他社との競争が激化するなか、営業管理体制の再構築と施工力強化を実行。エクステリア市場では現在、ガーデンルームや人工木デッキといった庭まわりの空間デザインに役立つ製品が伸長しており、取扱商品を拡充した。また、事業所ごとの配送・営業エリアの見直しを行ったほか、サンゲツとのシナジー効果のある営業体制強化に取り組んだ結果増収。

照明事業の状況

省エネ光源としてLED照明の急速な普及が進む一方、汎用価格帯での価格競争が激しさを増すなかで、非住宅分野ならびに首都圏市場に資源を集中し、大手デベロッパーや設計事務所への営業活動に注力。東京オリンピック・インバウンド需要も追い風となり、またサンゲツとの営業活動での連携強化をしたことで、大型オフィスビルやホテル、商業施設といったコントラクト案件の採用が拡大し、増収となった。

連結貸借対照表

※本貸借対照表は、昨年11月に買収したKoroseal社を含みますが、買収時点の資産評価を判定中であり、暫定的なB/Sを連結しております

区分	期別	2016年 3月31日	2017年 3月31日	増減
(資産の部)				
流動資産		888.2	962.0	73.7
現金及び預金		298.0	259.4	▲38.5
受取手形、電子記録債権及び 売掛金		455.7	484.9	29.1
有価証券		3.0	18.0	15.0
その他		131.4	199.6	68.1
固定資産		503.9	675.1	171.2
<有形固定資産>		310.0	351.0	40.9
建物及び構築物		88.9	117.4	28.5
土地		193.5	194.9	1.4
その他		27.5	38.6	11.0
<無形固定資産>		12.9	134.8	121.8
<投資その他の資産>		180.9	189.2	8.3
資産合計		1,392.2	1,637.1	244.9

単位(億円)

・売上増加に伴う売上債権増加及び連結子会社の増加に伴う売上債権増。

・中部ロジスティクスセンターⅡ、北関東ロジスティクスセンター新設に伴う資産増など。

・新基幹システム設計開発に伴うソフトウェア仮勘定の増加。
・主にKoroseal社取得時の勘定差額(暫定値)

・内、現金及び現金同等物は298億円

・仕入債務支払い日数の改善に伴う増加及び連結子会社の増。

・1年内返済長期借入金 +5億円。
(下記Koroseal社見合い分)
・Koroseal社B/S連結に伴う負債増。

・Koroseal社買収資金の見合い分を、主にシンジケートローンにて調達。
(1年内返済含め+132億円)

・2017年3月期純利益 65.7億円
・期中配当金支払 ▲33.8億円
・自己株式取得 ▲24.8億円

・有価証券時価評価減少及び退職給付に係る債務増加。

区分	期別	2016年 3月31日	2017年 3月31日	増減
(負債の部)				
流動負債		227.1	325.7	98.6
支払手形、電子記録債務及び 買掛金		159.7	229.1	69.4
未払法人税等		17.9	18.8	0.8
その他		49.5	77.8	28.3
固定負債		79.8	222.4	142.6
負債合計		307.0	548.2	241.2
(純資産の部)				
株主資本		1,080.5	1,087.7	7.1
その他の包括利益累計額		4.0	0.2	▲3.7
新株予約権		0.5	0.8	0.3
純資産合計		1,085.1	1,088.9	3.7
負債純資産合計		1,392.2	1,637.1	244.9

連結キャッシュ・フロー計算書

単位 (億円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	前期差
税金等調整前当期純利益	93.4	92.3	-1.1
減価償却費	14.2	19.5	5.3
運転資金増減	23.3	33.8	10.5
法人税等支払	-25.8	-30.9	-5.1
その他	3.1	-14.0	-17.1
営業キャッシュ・フロー	108.3	100.7	-7.6
投資キャッシュ・フロー	151.5	-223.9	-375.4
フリーキャッシュ・フロー	259.8	-123.2	-383.0
財務キャッシュ・フロー	-135.2	75.3	210.6

CCC改善取組み継続の成果により、仕入債務支払いサイト改善、物流拠点移転に備えた在庫積み増しなどにより、+10.5億円の改善となった

	【16年3月期】	【17年3月期】
売上債権増加	▲6.4	▲6.4
棚卸資産増減額(▲増加)	+2.0	▲11.5
仕入債務増加	+27.7	+51.8

主に物流施設新設・新システムの資産取得やM&Aによる支出増、前年度は国債の償還による収入などがあつた

	【16年3月期】	【17年3月期】
預金の預入と払戻による差額収入(▲支出)	+108.9	▲9.4
投資有価証券の取得と償還、売却の差額収入(▲支出)	+105.0	▲8.1
固定資産の取得による支出増	▲43.4	▲55.8
受注業務BPO委託料前払支出	-	▲5.6
子会社・関係会社株式取得(M&A)	▲17.8	▲143.7

主にKoroseal社買収の資金確保のため1億ドル(114.4億円)のシジケートローン※と20億円の資金調達による収入、及び自己株式取得による支出減

※シジケートローンは為替相場変動リスクと金利変動リスクをヘッジする目的で、固定金利の円建借入金に変換するための通貨スワップ取引を適用

	【16年3月期】	【17年3月期】
自己株式取得	▲101.7	▲24.9
配当金支払	▲32.5	▲33.8

2018年3月期 通期見通し

外部環境予想（当社推定）

		新設住宅着工戸数	新設住宅着工床面積	住宅リフォーム市場	民間非居住建築物 着工床面積 (倉庫・工場を除く)
		(国土交通省発表資料) 前期比	(国土交通省発表資料) 前期比	(当社推計資料) 前期比	(国土交通省発表資料) 前期比
2015年	4-9月	6.9%	3.5%	4.5%	▲ 4.7%
	10-3月	2.2%	0.7%	1.0%	▲ 8.5%
	通期	4.6%	2.1%	2.8%	▲ 6.5%
2016年	4-9月	6.0%	4.1%	▲ 8.3%	1.6%
	10-3月	5.6%	4.1%	2.2%	6.2%
	通期	5.8%	4.1%	▲ 3.1%	3.7%
2017年 (当社推定)	通期	▲ 3.8%	—	1.4%	0.2%

住宅	・ 大手ハウスメーカーの受注速報等により、新設住宅着工戸数は前年比▲3.8%を見込む。
住宅リフォーム	・ 補助金の活用など消費マインドの回復により、一昨年並みの市場規模回復を見込む。
非住宅	・ 着工面積全体では2015年度の減少と2016年度の増加で内装工事量は一進一退。業種別も斑模様。内装工事は全般的に引続き低調なるも、首都圏を中心に東京オリンピックやインバンド重要に向けた新築・改修工事が活発化するが地域限定的。

連結業績見通し(概要)

■売上高 1,560億円

(前期比+15.0%/203億5,900万円増)

- ・新設住宅着工戸数は前年微減を見込む。非住宅分野での壁装、床材の営業活動を強化。見本帳の新企画や新商品投入効果による増収を目指す。増収分のうちインテリア事業に関してはフェアトーン(株)の連結開始を含め30億円強、また昨年11月に買収したKoroseal社の損益連結開始と増収により海外事業は167億円の増収を見込む。

■営業利益 76億円

(前期比+0.4%/2,700万円増)

- ・グループ全体で売上総利益88億円増益見込む。
(昨年11月買収したKoroseal社の損益連結により70億円増を含む)
- ・一方、販売管理費は前期比88億円増(内Koroseal社分54億円)。これに加え、Koroseal社とフェアトーンののれん償却及びサンゲツの政策的経費等による費用増により、営業利益については前年並み。

■当期純利益 55億円

(前期比-16.3%/10億7,000万円減)

- ・前年度における特別利益(有価証券売却益8億6,300万円、また退職給付制度終了益1億800万円)計上の反動による前期比減。

連結業績計画

単位（億円、％）

	2017年 3月期 実績	2018年3月期										
		上期 計画	前期差			下期 計画	前期差			通期 計画	前期差	
			前期差	前期比	前期差		前期比	前期差	前期比			
売上高	1,356.4	750.0	100.1	15.4%	810.0	103.4	14.6%	1,560.0	203.5	15.0%		
売上総利益	401.0	235.0	41.1	21.2%	255.0	47.7	23.1%	490.0	88.9	22.2%		
販売費及び 一般管理費	325.3	209.0	50.7	32.1%	205.0	37.9	22.7%	414.0	88.6	27.3%		
営業利益	75.7	26.0	-9.5	-26.9%	50.0	9.8	24.5%	76.0	0.2	0.4%		
営業外収益	8.7	3.3	-0.9	-22.5%	2.3	-2.1	-48.6%	5.6	-3.1	-35.8%		
営業外費用	0.7	0.3	0.1	59.1%	0.3	-0.2	-48.9%	0.6	-0.1	-22.6%		
経常利益	83.6	29.0	-10.6	-26.9%	52.0	7.9	18.1%	81.0	-2.6	-3.2%		
特別利益	9.7	-	-1.0	-	-	-8.7	-	-	-9.7	-		
特別損失	1.1	-	-1.0	-	-	-0.1	-	-	-1.1	-		
税金等調整前 当期純利益	92.3	29.0	-10.7	-27.0%	52.0	-0.6	-1.2%	81.0	-11.3	-12.3%		
親会社株主に帰 属する 当期純利益	65.7	20.0	-8.6	-30.3%	35.0	-2.0	-5.4%	55.0	-10.7	-16.3%		
EPS（円）※	97.4							82.0				

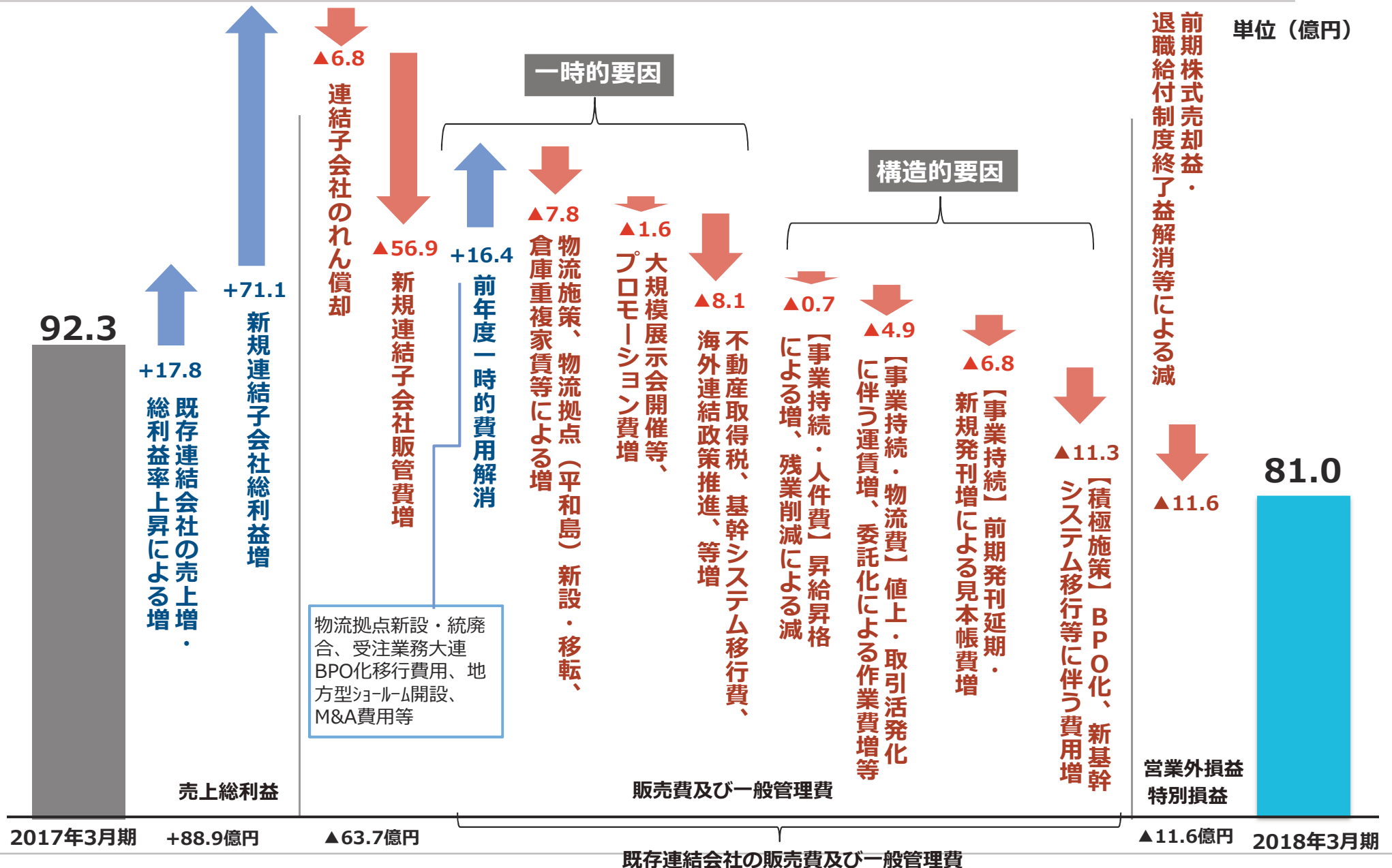
※2017年3月期実績EPSは、潜在株式調整後の株式数にて算出

連結セグメント別業績計画

単位 (億円、%)

		2017年 3月期 実績	2018年3月期								
			上期 計画	前期差		下期 計画	前期差		通期 計画	前期差	
				前期比	前期差		前期比	前期差		前期比	
インテリア	売上高	1,166.3	572.0	14.9	2.7%	625.9	16.7	2.7%	1,198.0	31.6	2.7%
	営業利益	71.7	20.9	-12.7	-37.8%	42.1	4.0	10.5	63.0	-8.7	-12.1%
エクステリア	売上高	147.7	74.4	1.8	2.6%	75.6	0.3	0.5%	150.0	2.2	1.5%
	営業利益	4.0	2.2	0.1	8.0%	2.2	0.2	11.6%	4.4	0.3	9.8%
照明器具	売上高	42.3	20.3	-0.2	-1.1%	24.2	2.3	10.6%	44.5	2.1	5.0%
	営業利益	0.2	-0.2	-0.2	-511.3%	0.5	0.2	90.7%	0.3	0.0	18.1%
海外 (山月堂・ Koroseal)	売上高	0.1	83.2	83.2	-	84.2	84.0	-	167.5	167.3	-
	営業利益	-0.2	3.1	3.1	-	5.2	5.4	-	8.3	8.5	-
セグメント間 取引調整	売上高	-0.3									
	営業利益	-0.0									
合計	売上高	1,356.4	750.0	100.1	15.4%	810.0	103.4	14.6%	1,560.0	203.5	15.0%
	営業利益	75.7	26.0	-9.5	-26.9%	50.0	9.8	24.5%	76.0	0.2	0.4%

連結税金等調整前純利益の増減（前年比）



将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

MEMO

Joy of Design